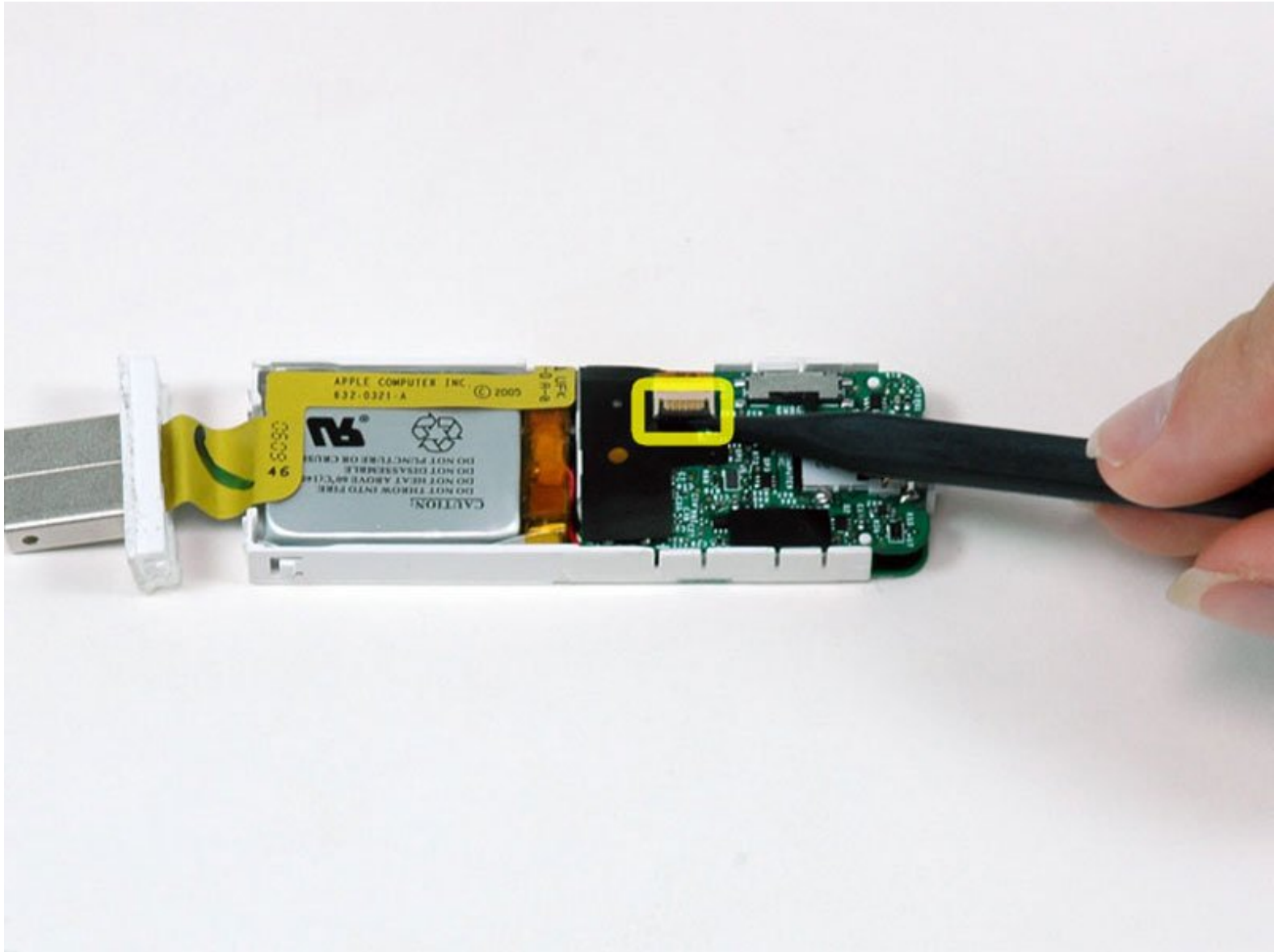




iPod Shuffle 初代のUSBポートの交換

作成者: iRobot



はじめに

iPodの底部にあるUSBコネクタです。

ツール:

- Precision Utility Knife (1)
- スパッジャー (1)

部品:

- iPod Shuffle Gen 1 USB Port (1)

手順 1 — ホールドスイッチ



- ① iPodを開口する前に、必ずホールドスイッチをロックします。

手順 2



- スパッジャーを使って、白のプラスチック製ホールドスイッチを持ち上げます。

手順 3 — ケース



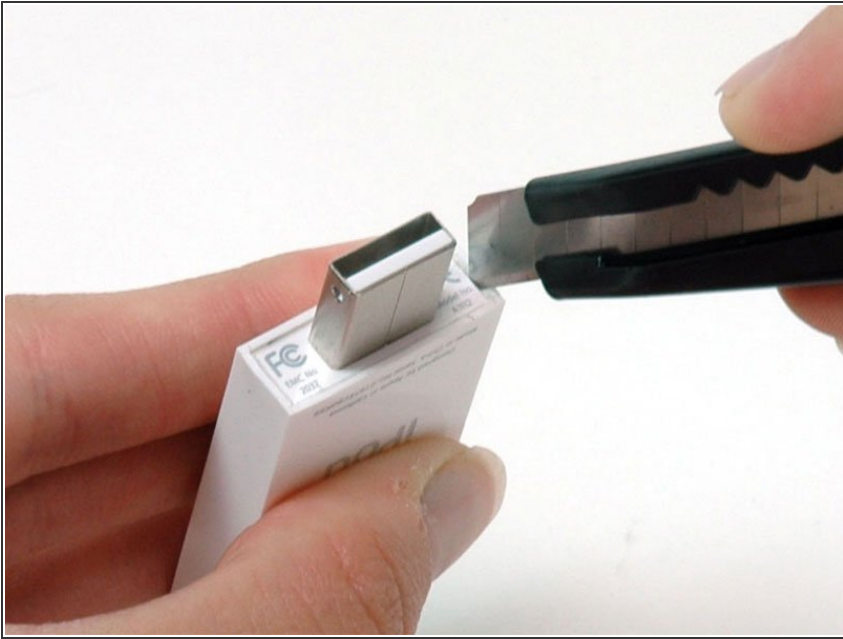
- USBポートにキャップが付いている場合は取り外します。

手順 4



- 次の手順は、非常に難しく、時間がかかります。iPodにダメージを与えないようにするため、必ずゆっくりと忍耐強く作業を進めてください。
- Exactoナイフを使って、iPodのUSBポートを留めている接着剤を剥がします。iPodの2つの部分の間の継ぎ目に沿ってナイフをスライドします。接着剤が完全に解放されるまで、この端に沿ってナイフを20-30回スライドしてください。

手順 5



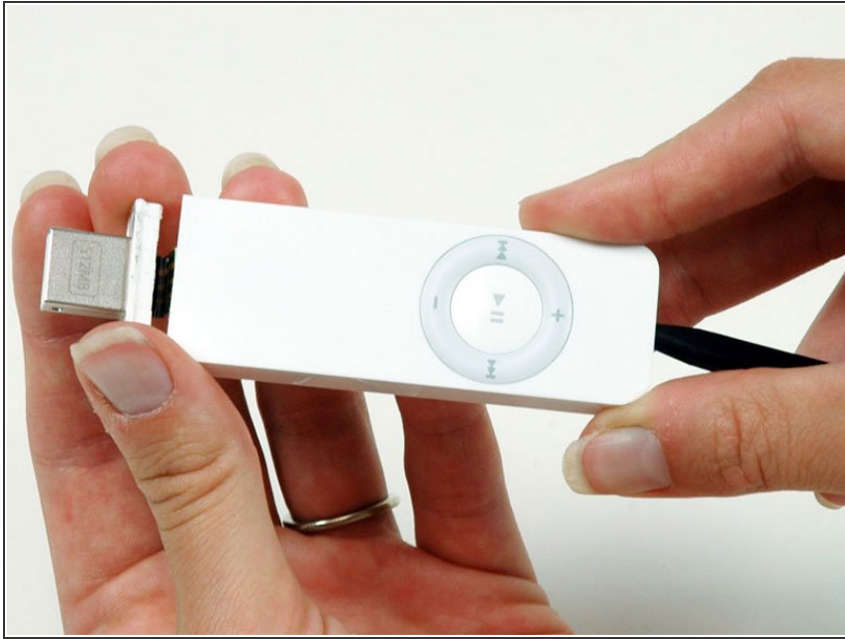
- 続けて、接着剤が解放されるまで、USBポートの4つ全ての端周辺でナイフを動かします。接着剤を剥がすために、ナイフを左右に慎重に揺り動かしてください。

手順 6



- スパッジャーを使って、ヘッドホンジャックを押し込み、ハウジングからUSBポートをスライドして、取り出します。
- ⓘ USBポートが解放されない場合、USBポートを留めている全ての接着剤が解放されたか確認してください。USBポートを引っ張ることは、推奨しません。リボンケーブルは脆く、USBポートが突然解放されたときに切断してしまう可能性があるからです。

手順 7



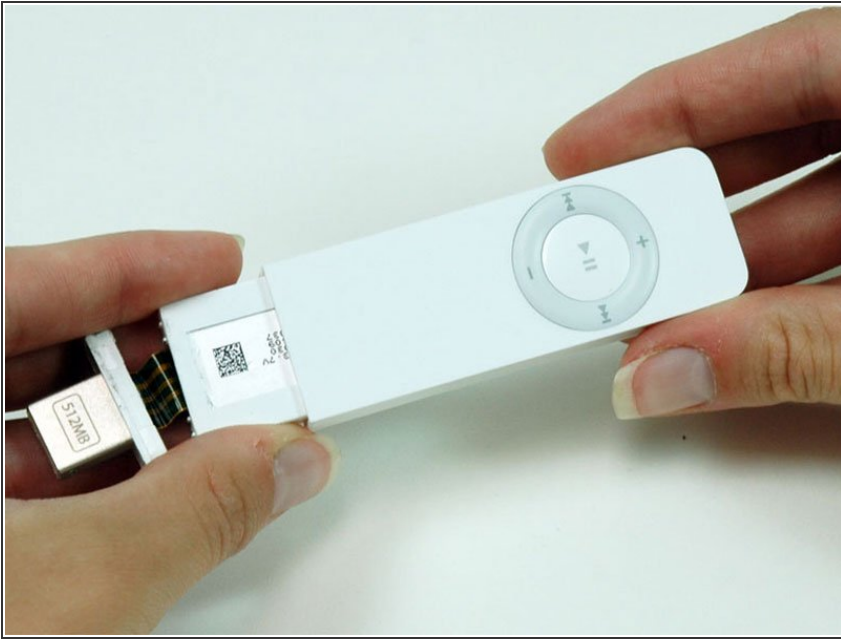
- USBポートが解放されたら、ハウジングからUSBポートを注意深くスライドして、取り出します。USBポートをロジックボードに接続しているリボンケーブルがまだあるので、引っ張りすぎないでください。

手順 8



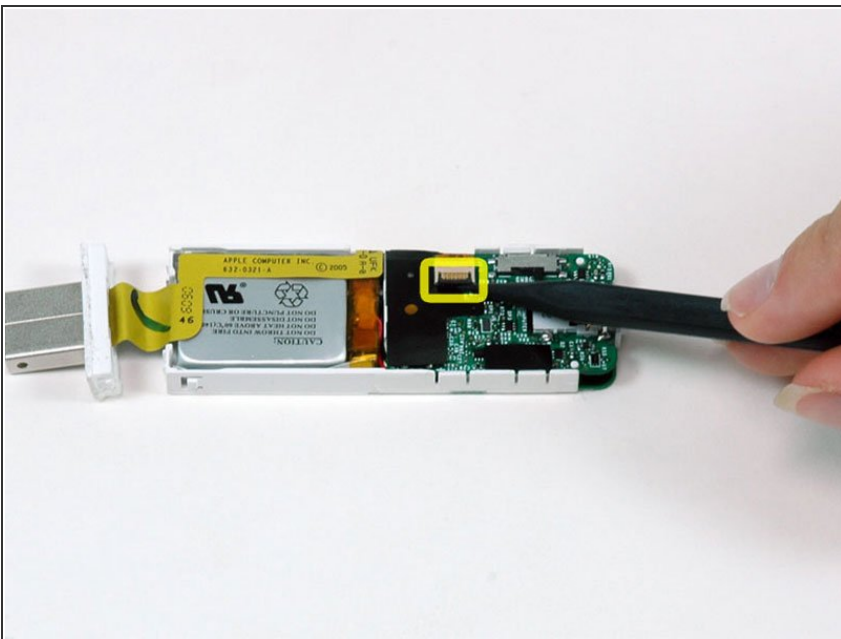
- 続けて、スパッジャーを使って、ケースからiPodをスライドして、取り出し、ヘッドホンジャック付近のロジックボードを押し込みます。

手順 9



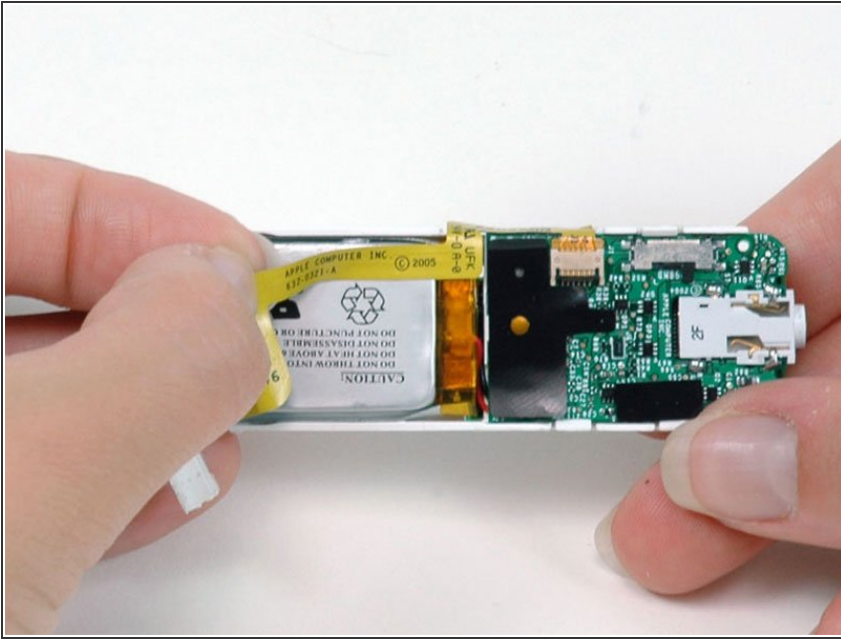
- クリックホイールが上向きになるよう iPod の向きを変えます。これによって、バッテリーインジケータの落下を防ぎます。
- ⓘ バッテリーインジケータが落下してしまったら、iPod を再度組み立てる前に忘れずに交換してください。バッテリーインジケータを元の位置に戻すのが難しい場合があります。iPod のケース先端からスライドして、ケース内のスロットに入れます。
- ケースから iPod をスライドして、取り出します。

手順 10 — USBポート



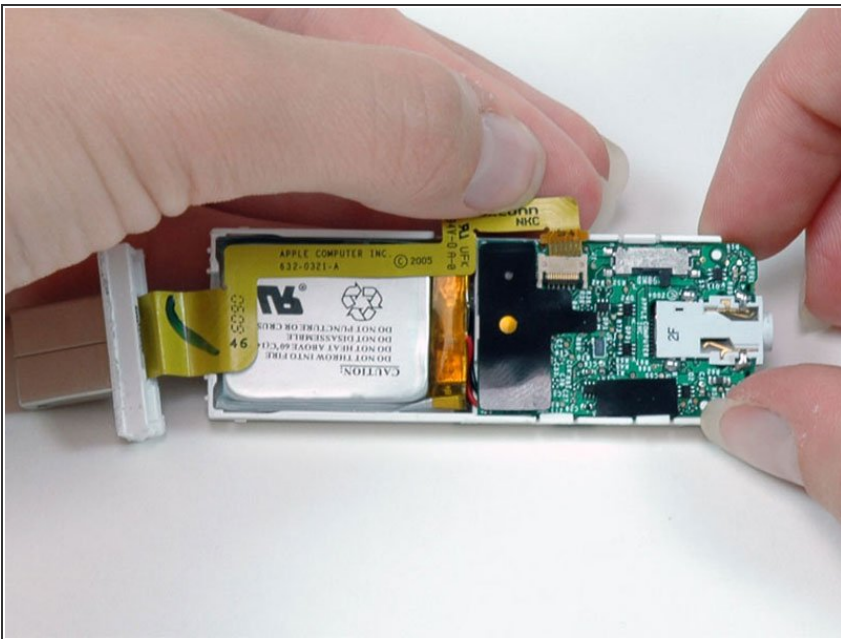
- スパッジャーを使って、USBポートリボンを固定している黒のプラスチック製タブを跳ね上げます。黒のタブは90度上部に向けて回転し、リボンケーブルが解放されます。

手順 11



- バッテリーから黄色のUSBリボンを注意深くめくり上げます。

手順 12



- コネクタからUSBリボンをスライドして、取り出します。
- iPodからUSBポートと付属のリボンケーブルを持ち上げます。

デバイスを再度組み立てるには、この説明書の逆の順番で組み立ててください。